

	文化財課
担当者	安（やす）
内 線	5 6 2 8
直 通	2 2 5 - 1 8 4 2

平成 21 年度「講座 考古学最前線」について

石川県教育委員会では、石川県立美術館を会場として、平成 21 年度「講座 考古学最前線」（テーマ：古代国家と道路）を下記のとおり開催します。

記

- ◆趣 旨 本講座は、最新の考古学研究のテーマ等をわかりやすく解説し、郷土の歴史と文化に対する理解を深める機会とするために開催している一般向けの公開講座です。受講料無料・事前申込み不要で、誰でも気軽に聴講できます。
- ◆日 時 平成 21 年 11 月 15 日（日） 午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分

1 時 30 分	挨拶・関連報告
2 時 00 分	講 演 開 始
4 時 00 分	終 了
- ◆会 場 石川県立美術館 ホール
金沢市出羽町 2 - 1 電話：0 7 6 - 2 3 1 - 7 5 8 0
- ◆講 演 **「古代国家と道路」**
- 内 容 律令という法制度にもとづく強力な中央集権をめざした古代国家は、都と地方を結ぶ七道駅路（しちどうえきろ）と呼ばれる全国的な道路網を造りあげた。
七道は山陽道・東海道・東山道・西海道・南海道・北陸道・山陰道の七つの路線からなり、駅路とは駅家（うまや）が設置された官道のことである。幹線道路の整備は古代の交通政策の根幹をなしていた。
古代に突如として現れ、そして廃絶した古代道路を中心に、なぜ古代国家はこのような立派な道路をつくりあげたのか、発掘調査などから判明した道の変遷について、最新の研究成果から解説いただき、新しい古代史像に迫ります。
- 講 師 **近江 俊秀**（おうみ としひで）
文化庁記念物課 文化財調査官 1966(昭和 41)年 宮城県生まれ
◎主な著書及び論文
・著書 『道路誕生』2008 年 青木書店、『古代国家と道路』2006 年 青木書店
・論文「道路遺構の変遷」『古代交通史研究』第 10 号 2000 年 古代交通研究会
- 関連報告 「加賀・能登の道路遺構」
(財)石川県埋蔵文化財センター調査部主幹 浜崎 悟司（はまさき さとし）
- ◆主 催 石川県教育委員会
- ◆問合わせ先 石川県教育委員会文化財課 埋蔵文化財グループ
電話：0 7 6 - 2 2 5 - 1 8 4 2
(財)石川県埋蔵文化財センター 企画部企画・普及グループ
電話：0 7 6 - 2 2 9 - 4 4 7 7
- ◆そ の 他 本講座は、石川県民大学校開設講座となっています。